内容をご熟読ください

HORNET®
Auto Security Systems

K CAR SECURITY

# 軽自動車専用
# カーセキュリティ
# お買い得シリーズ!

カーセキュリティシステム　K-7

MODEL

# K-7

## 取扱説明書

「安心と安全を次の世代に」

KATO-DENKI

# はじめに

この度はホーネットＫシリーズをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本書に記した注意事項は、ホーネットを安全かつ正しくご使用していただき、事故や損害を未然に防止するための大切なものです。
ご使用の前に、本書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
本書はなくさないよう、大切に保管しておいてください。

●本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれなどお気付きの点がありましたら、お客様サポートセンターまでご連絡ください。
●乱丁、落丁はお取り替え致します。
●本書に掲載されている内容は 2008 年６月１日現在のものです。
●本書の著作権は加藤電機株式会社にあります。
●本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。
●本書の掲載画像には若干の相違がある場合がございますのでご了承ください。

HORNET® コードホッピング ® は加藤電機株式会社および Directed Electronics, Inc. の日本国および米国における登録商標です。
KATO-DENKI ドアトリガー ® ダイアグノスティック ™ クリックトーン ® 等、本書記載の呼称は加藤電機株式会社の商標または登録商標です。

# 目次




**はじめに** ..... 1

**目次** ..... 2

**お取り扱い上の注意** ..... 4
- 安全上の注意 ..... 5
- 使用上の注意 ..... 5

**製品の説明** ..... 7
- 製品の説明 ..... 7
  - HORNET（ホーネット）とは ..... 7
  - 本書に出てくる主な用語の解説 ..... 7

**梱包物をご確認ください** ..... 8
- K-7 の梱包物 ..... 8

**基本的な操作の仕方** ..... 9
- リモコンのボタンについて ..... 9
- ホーネットを作動させる ..... 10
- ホーネットを解除する ..... 10
- クリックトーン® 消音機能 ..... 11
- パニックモード（強制サイレン） ..... 12
- ハイセキュリティ解除 ..... 13
- コンビニモード™ ..... 14
- 操作方法・確認音一覧 ..... 15
- リモコンの電池の交換方法 ..... 15
- ダイアグノスティック™ 機能 ..... 16

**各センサーの特長** ..... 17
- インスタントトリガー【ゾーン 1】 ..... 17
- 2 段階衝撃センサー（マイクロショックセンサー）【ゾーン 2】 ..... 17
- ドアトリガー ®【ゾーン 3】 ..... 17
- イグニッション ON センサー【ゾーン 5】 ..... 18

**センサーについて** ..... 19
- 2 段階衝撃センサーについて ..... 19
- NR-A ノイズリダクション™ 機能 ..... 19
- 2 段階衝撃センサーの感度調整方法 ..... 20

**機能設定** ..... 22
- 機能設定項目について ..... 22
- 機能設定手順 ..... 23

**その他の機能・特長** ..... 24
- デジタルリモコン ..... 24
- コードホッピング®（リモコン ID コード盗難防止機能） ..... 24
- セレクタブルサイレン ..... 24
- ソフトチャープ ..... 24
- クリックトーン® ON ／ OFF ..... 25
- ライトフラッシュ ..... 25
- エンジンスターター／ターボタイマーとの併用 ..... 25
- NPC 機能（迷惑防止回路） ..... 26

**トラブルシュート** ..... 27
- 故障かな？と思ったら ..... 27

**アフターサービスについて** ..... 28
- アフターサービスについて ..... 28
- 保証書について ..... 28
- 修理を依頼されるときは ..... 28

**お問い合わせ先・製品仕様** ..... 29

# お取り扱い上の注意



本製品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。

**危険** 取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。

**警告** 取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。

**注意** 取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか、物的損害のみの発生が想定される事項。

**禁止** 禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。

**ヒント** 機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒント等を説明。また、アクセサリーを扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることでアクセサリーの寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒント等を説明。

強制・制約・指示等を表す記号。

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

## 安全上の注意

### ⚠ 警告

●エンジンルーム内にサイレンを取り付けたままエンジン洗浄をしないでください。
ショートにより、感電や機器が故障する恐れがあります。
●リモコンはお子様の手の届かないところに保管してください。
システムを OFF してしまったり、誤って飲み込むなど事故の恐れがあります。
●メインユニットおよびオプション類の取り付けには正しい車両電装の知識が必要となります。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術のある取付店にて行なってください。また、車両電装の知識不足による誤った設置や配線方法により車両の破損、故障等が発生しても当社では責任を一切負いかねます。
知識のない方が取り付けを行なうと車両、製品の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ恐れがあります。

●本製品は、故意に分解および改造変更は絶対にしないでください。
製品本来の機能を損なうのみならず、重大な事故が発生する恐れがあります。また、分解および改造変更を行なった製品の保証は一切しておりません。
●本製品は大音量のサイレンを使用しています。人やペットが近くにいる時に本製品を作動させないでください。聴覚障害をおこす恐れがあります。

### ⚠ 危険

●DC12 V車両専用
24 V車両には装着できません。

## 使用上の注意

（1）リモコンの取り扱いに関する注意

### ⚠ 注意

●リモコンは落としたり固いものにぶつける等の強い衝撃を与えないでください。
●水がかかるような保管方法や使用方法をしないでください。
また、高温になる場所や湿気の多い場所に保管しないでください。
●持ち運びの際にはリモコンの操作ボタンが押されないように十分注意してください。
●リモコンの電池が消耗した場合、リモコンの効きが悪くなってきます。
早めに電池交換をしてください。
●リモコンの電池は機能テストのために使用したものであり、消耗品のため、ご購入後の使用できる期間に差があります。また、保証対象外となりますので無償交換等は一切致しておりませんのであらかじめご了承ください。電池が消耗している場合には新しい電池をお求めくださいますようお願い申し上げます。
●電波塔が近くにあるなどの電波障害がある環境の場合、リモコンの飛距離が著しく短くなる場合があります。

(2) 使用方法についての注意

### ⚠ 注意

●本製品は、車両盗難、車上狙い等を抑制するものであり、完全に防止するものではありません。

●テストの際はガラスやボディ等が破損しないように十分注意してください。
当社では万一破損等が発生しても責任は一切負いかねます。

●本製品は低消費電力設計がされておりますが、長期の連続使用や環境、車両の整備状況によってバッテリーの消耗具合が異なります。1週間以上車両をご使用されない場合等は特にご注意ください。

●本製品の警告、警報は、防犯上非常に効果的な大音量で発報するため騒音などにならないよう、周囲の環境を考慮した上で適切にご使用ください。

●何らかの理由で、リモコンのボタンが押された場合には、走行中であってもパニックモードにより警報（サイレン音）が鳴りだす場合がありますが、あわてずにリモコンによりサイレンを止めてください。

●本製品に過度の衝撃や振動は加えないでください。

●本製品の内部へは絶対に水や油などが浸入しないように十分注意してください。

### ❗ 必ずお読みください

●国産車限定
日本国内メーカーの車両に対応しています。
並行輸入車、外国車への取り付けサポートは行なっておりません。
●本製品内蔵の2段階衝撃センサーは取り付ける位置や車両の剛性等によって感度が大きく変わります。
●当社では製品の検査、修理時の代品貸し出しなどは一切行なっておりません。また、検査、修理時に発生した工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
●本製品はアナログ制御になります。コンピューターによるデジタル多重電送通信線への接続はできません。接続をした場合は、本製品のみならず車両の機器を破壊する恐れがあります。
●車種により本製品の接続が不可能な場合があります。
●本製品の仕様およびデザインは性能向上等のため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。





## 製品の説明

### HORNET（ホーネット）とは

HORNET は、製品を取り付けされた車両に異常が発生した場合に、大音量のサイレンにて不審者を威嚇したり周囲に異常を知らせる、盗難発生警報装置（カーセキュリティシステム）です。各種センサーにより車上荒しを効果的に抑制します。
また、別売の各種オプションと組み合わせることで防犯性、利便性をさらに拡張し、オリジナリティ溢れるシステム構築が可能です。

### 本書に出てくる主な用語の解説

#### 警告／警報

HORNET が車両の異常を検出した場合に、サイレンを鳴らすなどして威嚇することを示します。

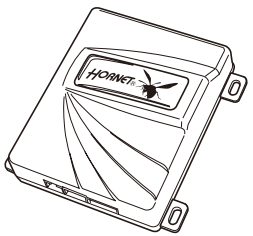
**警告：**
サイレンからの音　　：ピッピッピ……
スモールライトの点滅　：2回
**警報：**
サイレンからの音　　：ヒュンヒュンヒュン……！！
スモールライトの点滅　：サイレン鳴動中

#### 確認音

HORNET の各操作を行なうたびに鳴るサイレンからの音を示します。また、システムのON（作動）／ OFF（解除）時に鳴る確認音をとくにクリックトーン（動作確認音）と呼びます。音の鳴り方は操作の内容によって異なりますので、各案内書きをご覧ください。

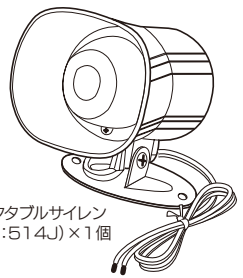
# 梱包物をご確認ください

## K-7の梱包物 （取り付けの前に必ずご確認ください）

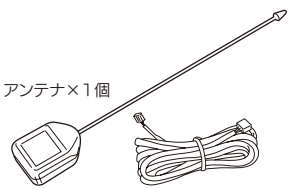



メインユニット×1台

専用リモコン(493H)×1個

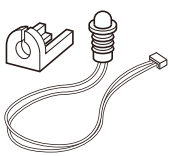


セレクタブルサイレン
(型式:514J)×1個

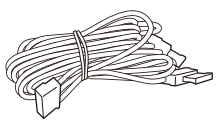


アンテナ×1個

アンテナハーネス×1本



動作確認LED×1個
LEDホルダー×1個



メインハーネス×1束

- 取扱説明書×1冊　・取付説明書×1冊
- ホーネットステッカー×1シート
- 製品保証書兼ユーザー登録兼
  保険加入申込書(はがき)×1枚
- プライバシー保護シール×1枚
- 両面テープ(大、小)×各1枚
- マジックテープ×1組
- エレクトロタップ×1個
- 結束バンド (長)×3本
  (短)×5本
- ボルト(M6×10)×2本
- タッピングビス×2本
- ダイオード×5個
- 全国自動車用品工業会自主基準登録証×1枚
- 確認チェックシート×1枚

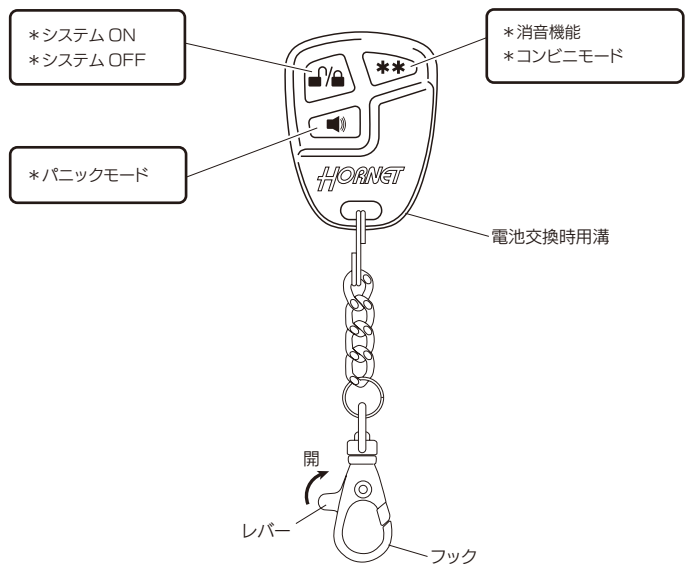
※ステッカーはフロントガラスには貼らないでください。
側面ガラスに貼る場合は、ステッカー全体がガラスの開口部の下縁から100mm以下、かつガラス開口部の後縁から125mm以内におさまるように貼ってください。また、ステッカーの再発行は致しません。
※本製品の仕様およびデザインは性能向上等のため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。



# 基本的な操作の仕方

## リモコンのボタンについて

### 主な操作




### その他の操作

消音機能(システムON/OFF)

コンビニモード

**⚠ 注意**

リモコンの電池は機能のテストのために使用したものであり、消耗品のため、ご購入後の使用できる期間に差があります。また、保証対象外となりますので、無償交換等は一切致しておりません。電池が消耗している場合には、新しい電池をお求めくださいますようお願い申し上げます。

## ホーネットを作動させる

**1** エンジン停止後、クルマから降り、すべてのドアを閉めます。

**2** リモコンの ボタンを１回(１秒ほど)押します。

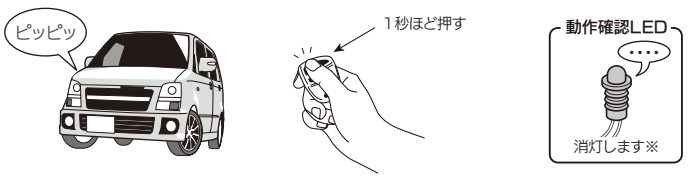
**3** “ピッ” と１回クリックトーンが鳴ってシステムが ON になったことを知らせます。

※システム作動中には、動作確認 LED が点滅を続けます。
※ ON にした際にクリックトーンが１回鳴った後、３秒後に再度鳴った場合には、システムを ON にした時に半ドアであったり、何らかのセンサーが反応したことをレポートしています。反応したゾーン（P.16）は動作確認 LED で確認してください。

## ホーネットを解除する

**1** システムが ON で警報が鳴っていないときに、リモコンの ボタンを１回(１秒ほど)押します。

**2** クリックトーンが２回“ピッピッ”と鳴ってシステムが OFF になったことを知らせます。




※ディスアーム時にクリックトーンが４回または５回鳴った場合には、システムが ON の間に何らかのセンサーが反応したことをレポートしています。反応したゾーン(P.16)は動作確認 LED で確認してください。

**ヒント**

機能設定(P.22 参照)でクリックトーンを「OFF」に設定することでシステム ON/OFF 時の確認音を鳴らなくすることができます。

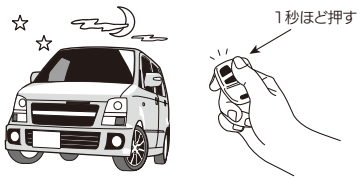




## クリックトーン® 消音機能

システムの ON/OFF 時に、一時的にクリックトーンを消音することができます。
夜間にご使用の場合など、システムの ON ／ OFF の音を周囲に気付かれたくない時に便利な機能です。

**1** リモコンの ボタンを１秒ほど押します。




――――５秒以内に次の操作を行なってください。

**2** リモコンの ボタンを１秒ほど押します。

**3** クリックトーンが鳴らずにシステムが ON（または OFF)になります。

< ON にした場合>

**注意**

機能設定（P.22 参照）にてクリックトーンを OFF に設定した場合にはこの消音機能に関わらずクリックトーンは鳴りません。

## パニックモード（強制サイレン）

リモコン操作で警報を強制的に鳴らすことができます。
緊急時や周囲に異常発生を知らせたい時などに便利です。

**1** リモコンの ボタンを1.5秒以上押し続けます。

**2** 警報が鳴ります。

警報が鳴ります。

**パニックモード**

警報は設定した秒数鳴ります。（P.22 参照）

**3** 警報が鳴っている最中にリモコンの ボタンを再度押すと、警報が止まります。

警報が止まります。

## ハイセキュリティ解除

警報が鳴っている最中にシステムを OFF にせずに、警報のみを止めることができます。
システムが OFF 状態にならないため、システムを再度 ON にする必要がありません。

**1** **警報開始**

システムが ON の時にセンサーが働くと警報が鳴り始めます。

**2** **ハイセキュリティ解除**

警報中に ボタンを押すと警報のみが止まりシステムは引き続き警戒を続けます。

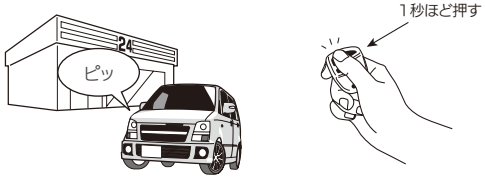
警報のみ止まります。

※何らかのセンサーが反応し、警報が鳴り始めると、動作確認 LED は反応したゾーンを示し始めます（P.16）が、ハイセキュリティ解除を行なうとメモリはリセットされ、通常の点滅に戻ります。

## コンビニモード™

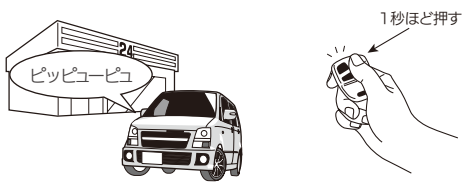
幹線道路周辺やコンビニエンスストアなど振動の多い場所に駐車する場合、リモコン操作で内蔵の２段階衝撃センサーを一時的にスリープ状態にできます。環境に応じてセンサーを働かせたくない場合に便利な機能です。

**1** リモコンの ボタンを１秒ほど押しシステムを ON にします。




――――５秒以内に次の操作を行なってください。

**2** リモコンの ボタンを１回押します。




**3** 確認音“ピッピューピュ”が鳴り、内蔵の２段階衝撃センサーが働かなくなります。

※クリックトーン消音機能を使用した場合でもコンビニモードの設定音は消音できません。

**4** コンビニモードは、システムを OFF にすると同時に解除されます。

**ヒント**

- ●コンビニモード設定後は、メインユニット内蔵の２段階衝撃センサーはスリープ状態になりますが、その他のセンサーは作動しています。
- ●機能設定（P.22参照）でクリックトーンを「OFF」に設定してある場合でも、コンビニモードの設定音は消音できません。



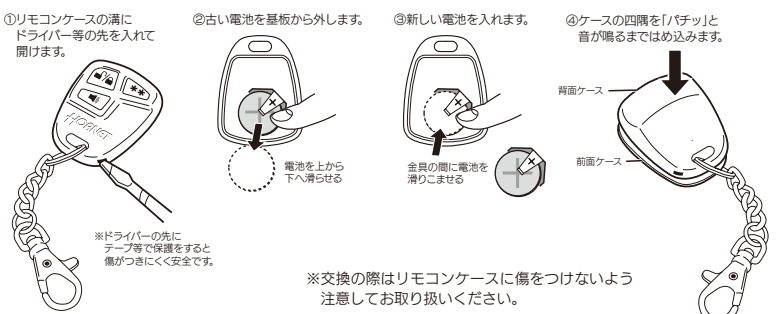


## 操作方法・確認音一覧

| 機能 | リモコン操作 | 確認音 | ライトフラッシュ |
|---|---|---|---|
| システム ON | | 「ピッ」 | 1回 |
| システム OFF | | 「ピッピッ」 | 2回 |
| システム OFF（発報後） | | 「ピッピッピッピッ」 | 2回 |
| コンビニモード™ | → | 「ピッピューピュ」 | ―― |
| 消音機能 | → | ―― | システム ON 時：1回<br>システム OFF 時：2回 |
| パニックモード（強制発報） | | 「ヒュンヒュンヒュン……」 | 点滅 |
| 警告 | ―― | 「ピッピッピッピッ……」 | 3回 |
| 警報 | ―― | 「ヒュンヒュンヒュン……」 | 点滅 |

## リモコンの電池の交換方法

リモコンの電池が消耗してきた場合電池を交換してください。
対応する電池は「CR2032」型のボタン電池です。




※交換の際はリモコンケースに傷をつけないよう注意してお取り扱いください。

**注意**

- ●交換の前に、あらかじめ金属部分などに触れて静電気を除去した、乾いた手でお取り扱いください。
- ●ケース内部へは絶対に水や油、ほこり等が浸入しないように十分注意してください。

## ダイアグノスティック™ 機能

動作確認 LED やクリックトーンによって、センサーが異常を検出して警報した場合にその原因をある程度特定することができます(ダイアグノスティック™ 機能)。

### メモリー機能

クリックトーンの回数により、発報の有無などの確認が行なえます。また、半ドアやセンサーが反応した状態でシステムを ON にした場合には、確認音が鳴ることでレポートを行ないます(センサーレポート機能)。

| 操作 | レポート内容 | 動作確認音 |
|---|---|---|
| システム ON | システム ON | ピッ |
| システム ON | 半ドアやセンサーが反応した状態でシステム ON | ピッ　約2～3秒後　ピッ |
| システム OFF | システム OFF | ピッピッ |
| システム OFF | 警報が鳴った後にシステム OFF | ピッピッピッピッ |
| システム OFF | NPC がはたらいた後にシステム OFF | ピッピッピッピッピッ |

### ゾーン ID

システム作動中に警報があった場合や、センサーレポート機能が働いた場合、動作確認 LED の点滅回数が変化します。
動作確認 LED の点滅をみることで、どのゾーンが反応したのかを確認することができます。
LED の点滅は、およそ２秒ごとに行なわれます。

| ゾーン ID（LED の点滅回数） | センサーの反応内容 |
|---|---|
| 1（1 秒ごと） | 警報なし |
| 1（2秒ごと） | インスタントトリガーが反応 |
| 2 | 内蔵の２段階衝撃センサーが反応 |
| 3 | ドアトリガーが反応 |
| 5 | イグニッション ON センサーが反応 |

**ヒント**

**ダイアグノスティック™ 機能のリセット**
システム OFF 時にエンジンを始動するか、もしくはシステム OFF 後再度システムを ON にすると、同時にダイアグノスティック™ 機能もリセットします。

**注意**

ダイアグノスティック™ 機能は、最後に異常を検出したセンサーに対してレポートします。警報が鳴ったすべての原因がわかるものではありません。





## インスタントトリガー【ゾーン１】

トランクが開けられたことを検出し、警報を鳴らして威嚇します。トランクに積載されたものを守るために有効です。
また、ボンネットが開けられたことを検出し、警報を鳴らすこともできます（車両によっては別途オプション「ピンスイッチ(8607)」が必要です)。

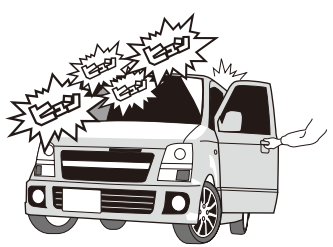
## ２段階衝撃センサー（マイクロショックセンサー)【ゾーン２】 特許

車体に加えられる衝撃を自動判別して弱い衝撃では警告、強い衝撃では警報を鳴らして威嚇します（リモコンによる独立感度調整)。
風などの揺れにはまったく反応せず、瞬間的に加わる「衝撃」や「衝撃波」、「振動」のみを検出します。
お客様のご使用環境に応じて感度調整が行なえます。

２段階衝撃センサーの感度調整方法　P.20 参照

## ドアトリガー ® 【ゾーン３】

システム ON 時にドアを開けられたことを確実に検出し、警報を鳴らして威嚇します。



## イグニッション ON センサー【ゾーン5】

エンジン始動を感知するセンサーです。
システム ON 中に、エンジンをかけようとすると警報を鳴らして威嚇します。

**ヒント**

イグニッション ON センサーを使用する場合、エンジンスターター／ターボタイマーとの併用はできません(P.25)。

## 2段階衝撃センサーについて

**【上手な感度設定の仕方】**

●クルマを駐車している環境に応じて感度を設定する必要があります。
ここでは代表的な感度設定の例をご紹介します。

例1：微振動が発生する要素が多くある場合
- 幹線道路の近くでトラックなどの往来がある
- バックファイヤーの激しいクルマが往来する
- 飛行場などの近く
- 工事現場や工場の近くなど

| 警告のみで効果的に威嚇 | |
|---|---|
| 警告モード | 0～5 |
| 警報モード | 0 |

例2：犯罪防止のため異常時は必ず警報を鳴らしたい
- 警報が鳴っても特に問題ない環境

| 警告と警報で効果的に威嚇 | |
|---|---|
| 警告モード | 8～15 |
| 警報モード | 3～7 |

例3：閑静な住宅街であまり警報は鳴らしたくない
- 周りでは微振動は起きない
- 強い衝撃では警報を鳴らしたい

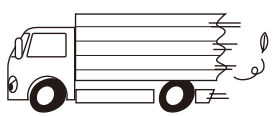
| 警告と警報で効果的に威嚇 | |
|---|---|
| 警告モード | 10～15 |
| 警報モード | 1～3 |

**注意**

●機能設定で警告設定を「ON」にしていない場合、警告は鳴りません(標準「OFF」)。
●本製品は大音量で警告または警報による威嚇ができます。
●2段階衝撃センサーの感度は取付位置や取付向き、車両のボディ剛性によって大きく異なります。
●2段階衝撃センサーの感度を0に設定した場合でも、ドアのこじ開けを検出するためのセンサーは独立して作動しています。ドアなどがこじ開けられた場合に警報が鳴ることを確認してください。
●2段階衝撃センサーは風などによる“揺れ”には反応しません。

## NR-A ノイズリダクション™ 機能 特許

ノイズリダクションの採用によりトラック通過ノイズ等による連続微振動に対する警報を大幅にキャンセルできるようになりました。
また、強風などの揺れに反応しないため誤報が大幅に低減されました。



## 2段階衝撃センサーの感度調整方法

リモコンからの操作で2段階衝撃センサーの感度調整ができます。

**1** リモコンの ボタンを 1 秒ほど押して
システムを ON にします。

**警告モードの感度調整**
警告を鳴らす感度調整の
モードです。

**警報モードの感度調整**
警報を鳴らす感度調整の
モードです。

**2** リモコンの ボタンを 1 秒以上押して
システムを OFF にします。

**3** 前の操作から 5 秒以内にリモコンの ボタンを 3 秒以上押すと、感度調整モードに入ります。
確認音“ピューピュ”が鳴れば、感度調整モードに入っています。
5 秒以上放置すると、感度調整モードを自動的に終了します。





**4** **感度を上げる場合（最大 15）**
リモコンの ボタンを押すたびに感度レベルの確認音“ピッピ”が鳴って 1 段階ずつ感度が上がります。
最大感度になると確認音“ピッピ　ピューピュ”が鳴って知らせてくれます。

**5** **感度を下げる場合（最小 0）**
リモコンの ボタンを押すたびに感度レベルの確認音“ピッ”が鳴って 1 段階ずつ感度が下がります。
最低感度になると確認音“ピッ　ピューピュ”が鳴って知らせてくれます。

**ヒント**

初期設定はサイレンモード、警告モード共にレベル 7 設定です。

**◎機能設定で警告設定を「ON」にしていない場合、警告は鳴りません（標準「OFF」）。**(P.22)

## 機能設定項目について　下線が初期設定

### 1　クリックトーン®　ON ／ OFF
システムの ON 時と OFF 時の確認音の有／無を選択できます。

### 2　サイレンタイム　30 ／ 5 ／ 10 ／ 15 秒
警報時間を選択できます。

### 3　イグニッション入力　センサー／シャント
イグニッション ON の入力を異常としてとらえて警報を鳴らすか、エンジンスターター／ターボタイマーと判断して各センサーをスリープさせるかの選択ができます。
エンジンスターターやターボタイマーと併用するときには、「シャント」にしてください。

### 4　警告設定　ON ／ OFF
2段階衝撃センサーやオプションセンサーが反応した時に鳴る警告音の有／無を選択できます。

### 5　ドアトリガー® エラー音　ON ／ OFF
システムを ON にしたときに、ドアが開いていることによって、センサーレポート機能(P.16)を働かせるかどうかを選択できます。
残照灯の影響などにより、半ドアでない場合でもセンサーレポート機能が働いてしまう場合のみ、OFF にしてください。

### 6　センサーエラー音　ON ／ OFF
システムを ON にしたときに、特定のセンサー(※)が反応していることによって、センサーレポート機能(P.16)を働かせるかどうかを選択できます。
通常環境での使用方法では特に不要ですので、ON のままご利用ください。
※内蔵の2段階衝撃センサー、オプションセンサー

### 7　NPC 機能　ON ／ OFF
NPC 機能(P.26)の ON ／ OFF を選択できます。

## 機能設定手順

**1** リモコンの ボタンを1秒ほど押してシステムを OFF にします。
※すでにシステムが OFF の場合には、一度システムを ON にしてから OFF にしてください。

5 秒以内に次の操作を行なってください。

**2** リモコンの ボタンと ボタンを同時に2秒以上押すたびに確認音が鳴り、設定項目を選択できます。
設定項目を選択したあとに、 ボタン又は ボタンを押すことで設定内容の選択が行なえます。

| 項目番号 | 設定項目 | 確認音 | ボタン 確認音"ピッ"※1 | ボタン 確認音"ピッピッ"※1 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | クリックトーン | ピューピュ　ピッ | ON | OFF |
| 2 | サイレンタイム | ピューピュ　ピッピッ | 30 秒 | 5 / 10 / 15秒※2 |
| 3 | イグニッション入力 | ピューピュ　ピッピッピッ | センサー | シャント |
| 4 | 警告設定 | ピューピュ　ピッピッピッピッ | ON | OFF |
| 5 | ドアトリガーエラー音 | ピューピュ　ピッピッピッピッピッ | ON | OFF |
| 6 | センサーエラー音 | ピューピュ　ピッピッピッピッピッピッ | ON | OFF |
| 7 | NPC 機能 | ピューピュ　ピッピッピッピッピッピッピッ | ON | OFF |

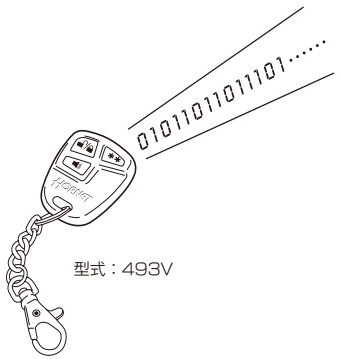
※1　動作確認 LED を使用した場合に、 ボタンでは点灯、 ボタンでは点滅して設定状況の確認ができます。
※2　確認音はリモコンの ボタンを押すたびに 5 秒＝ 2 回、10 秒＝ 3 回、15 秒＝ 4 回に変化します。

**ヒント**
- 各操作は5秒以内に行なってください。5秒以上操作しない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

# その他の機能・特長

## デジタルリモコン

デジタルリモコンのIDコードの組み合わせは7378京6936兆通り以上あり、電波の混信によって誤作動することがありません。
また、コードホッピング®によりIDコードコピーによる盗難を完全に防ぐことができます。
万一リモコンを紛失、盗難にあってしまっても、以前のリモコンをすべて消去し、新しいリモコンをご購入、登録いただくことも可能ですので、安心してご利用ください。




**ヒント**

- リモコンのご購入、登録等に関しましては、取り付けを行なった販売店へお問い合わせください。
- リモコンは最大で4個まで登録が可能です。
- 電池消耗時には、市販の「CR2032（1個）」をお買い求めご利用ください。

## コードホッピング®（リモコンIDコード盗難防止機能）

一度使ったIDコードは二度と使用しないため、IDコードのコピーによる盗難を完全に防ぐことができます。

## セレクタブルサイレン

犯罪心理学を研究して選ばれた犯罪抑止効果の高い6つの音色で構成されています。音量は最大約128dBで撃退効果は抜群です。
音色は6種類、音量は4段階から選択できます。

※設定方法に関しては、別紙取付説明書をご覧ください。

※初期設定は5音色目の音のみ鳴ります。

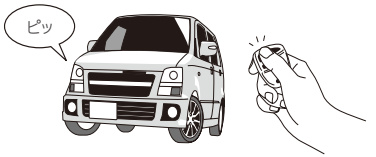
## ソフトチャープ

動作確認音や警告などは、警報よりも若干小さい音で行なわれます。セレクタブルサイレンについている黒色のループ線を切断することで、警報と同じ音量になります。

## クリックトーン® ON／OFF

システムON／OFF時に鳴る確認音を、機能設定によって消音にすることができます。

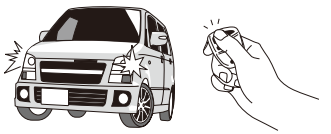
機能設定　P.22参照




## ライトフラッシュ

システムのON/OFF時、警告時、警報時にクルマのスモールライトを点滅させることで、視覚的にも犯人を撃退することができます。

※車種により別途ライトフラッシュリレー（525T）が必要になる場合があります。



## エンジンスターター／ターボタイマーとの併用

エンジンスターターやターボタイマーなどによりエンジンが作動している最中にも、ドアのこじ開けに対しての警戒を続けることができます。
エンジン作動中ドアトリガー以外のすべてのセンサーはスリープモードとなり反応しませんが、エンジン停止後は約5秒後に自動復帰します。

※イグニッションONセンサー（P.18）とは併用できません。
※必ず機能設定にてイグニッション入力を「シャント」に設定してください。

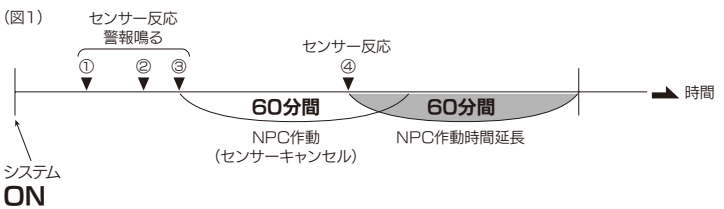
機能設定　P.22参照

## NPC 機能（迷惑防止回路）

近所迷惑などを防止するため、同じセンサーが連続して反応し、警報を鳴らすことを防止できます。

| NPC　ON | NPC　OFF |
|---|---|
| ●同じセンサーが1時間以内に3回警報を鳴らした場合、3回目に警報を鳴らした時点から60分間そのセンサーをキャンセルします。<br>●NPC作動中、4回目に同じセンサーが反応した場合、その時点からさらに60分間NPC作動期間を延長します。(図1)<br>●反応したセンサーに関わらず、8回警報が発報した場合、一度システムをOFF／ONしない限り、警報は鳴らなくなります。 | ●同じセンサーが反応するたびに警報を鳴らし、威嚇します。 |

(図1)




**ヒント**

NPC 機能は、機能設定で「OFF」にすることができます(P.22)。

**ヒント**

**NPC をリセットするには?**

①システム OFF 後キーでイグニッションを ON の位置にします(エンジンをかけると自動的にリセットされます)。

②システム OFF 後、次にシステム ON した場合には、NPC はリセットされます。





## 故障かな?と思ったら

| 症状と原因 | 対　策 |
|---|---|
| **☆勝手に警報が鳴る** | |
| ・メインユニットの固定が不十分 | 確実に固定してください。 |
| ・電源線の接触不良 | 電源線を確実に接続してください。 |
| ・各センサーの感度が高すぎる | センサーの感度を絞ってください。 |
| ・衝撃センサーの感度が強すぎる | 感度を絞ってください。 |
| **☆セキュリティを ON した後、数秒後に「ピッ」と鳴る** | |
| ・センサーレポート機能が働いている | 詳細は P.16を参照してください。 |
| **☆リモコンが利かない** | |
| ・同調がずれている | 再度リモコンの同調をしてください。<br>(取付販売店に依頼してください)<br>＊メインユニットの電源を何度か投入した場合に電源ノイズによりリモコンの同調がずれることがあります。 |
| ・ラジオ局など無線局が近くにある | 車の近くに寄って操作してください。 |
| ・アンテナを金属部に接続している | アンテナの固定箇所を変えてください。 |
| ・リモコンの電池がない | 新しい電池に交換してください。 |
| ・リモコンの電池の接触不良 | 電池を入れ直してください。 |
| ・バッテリーが弱っている | 新しいバッテリーに交換してください。 |
| ・水の浸入があった | お買い求めの販売店に持ち込み修理を依頼することをお勧めします。<br>＊水の浸入による故障は保証期間内であっても有償修理となります。 |
| **☆ドアを開けても警報が鳴らない** | |
| ・システムを ON にしてから5秒以上待っていない | システムを ON にしてから5秒以上待ってください。 |
| ・ドアトリガー線の接続不良 | ドアトリガー線を確実に配線してください。 |
| **☆叩いても警報が鳴らない** | |
| ・システムを ON にしてから5秒以上待っていない | システムを ON にしてから5秒以上待ってください。 |
| ・車体を揺らしている | 揺れには反応しません。 |
| ・感度が低すぎる | 感度を上げてください。 |
| ・メインユニットの固定位置が最適でない | 説明書通りに固定してください。 |
| ・黄色線を常時電源に接続している | 黄色線は必ず IG ON で +12V が供給される線に接続してください。 |
| **☆オプションセンサーが働かない** | |
| ・システムを ON にしてから5秒以上待っていない | システムを ON にしてから5秒以上待ってください。 |
| ・感度が低すぎる | 感度を上げてください。 |
| ・テスト方法が違っている | 各センサーに最適なテスト方法でテストしてください。<br>(オプション付属の説明書参照) |
| ・黄色線を常時電源に接続している | 黄色線は必ず IG ON で +12V が供給される線に接続してください。 |

上記のテストを行なっても正しく作動しない場合は取付販売店へお尋ねください。

## アフターサービスについて

●万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。
●本製品の保証期間はお買い上げの日から１年間です。
●保証期間経過後は、修理によって本製品の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理致します。本製品の補修用性能部品は製造打切り後、最低６年間保存しています。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 保証書について

●製品には製品保証書を添付しております。ご購入の際には、必ず製品保証書をお受け取りの上、大切に保管してください。尚、店名、ご購入日、お客様名などの必要事項の記載のないものは保証期間中であっても無効となります。
●シリアル番号は安全確保上重要なものです。お買い上げの際にはメインユニットにシリアル番号が表示されているか、また、保証書記載のシリアル番号と一致しているかお確かめください。お客様の安全管理、アフターサービスのため、保険加入をしない場合でもユーザー登録は必ずユーザー登録兼保険加入申込書(はがき)により郵送にて行なってください。(FAX 不可)
ユーザー登録がされてない場合にはサポートが受けられない場合がありますのであらかじめご了承ください。
車載物盗難保険を希望されない場合は「加入しない」にチェックをしてから投函してください。

## 修理を依頼されるときは

●説明書に記載の「故障かな?と思ったら」(P .27)を参考にして、故障かどうかを確認してください。故障とお考えの前に取付販売店または当社カスタマーセンター（P.29)にご相談ください。当社カスタマーセンターへご相談後に検査依頼をされた場合でも、送料はお客様のご負担となります。
●修理をご依頼の際は、下記事項を確認して取付販売店へご依頼ください。
このとき保証書は必ずご提示ください。

１　型式名、型番号、シリアル番号
　　（例：ホーネット K-7　　5012204321）
２　故障の内容
　　（どのような症状か・どんな時に症状がでるか・いつでもでるか、時々かなど）
３　お買い上げ年月日
４　お買い上げ店名
５　お名前、住所、連絡先電話番号

●修理時に取り外した不良品は品質改善のため、あしからず当方にて引き取らせて頂きます。
●購入店が移転・閉店した場合は、お近くのホーネット取扱店までご相談ください。
●当社では製品の検査・修理時の代品貸し出し等は一切行なっておりません。また、修理を依頼されるときの送料、取り付け・取り外しにかかる工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。





●ホーネットについてのお問い合わせは……

KATO-DENKI
加藤電機株式会社

**お客様サポートセンター**

**TEL 0569-26-0088**
FAX 0569-26-0089
営業時間　月～金　10:00～17:00（祝日、年末年始等は除く）

※お問い合わせの際は、ホーネットの型式とシリアル番号を確認させていただきますのであらかじめご準備ください。

### 製品仕様

| | |
|---|---|
| ●電源電圧 | DC12V |
| ●平均消費電流（待機時） | 約5mA（動作確認LED含む） |
| ●平均消費電流（警報時） | 約1A |
| ●サイレン音圧 | 最大約128dB |
| ●使用周囲温度 | 約−40℃～+85℃ |
| ●メインユニット外形寸法 | 約78×76×26mm |
| ●質量 | 約67g |

「安心と安全を次の世代に」

KATO-DENKI

加藤電機株式会社

http://www.kato-denki.com